

平成24年第1回  
上小阿仁村議会定例会  
会 議 録

平成24年3月 6日 (開会)

平成24年3月16日 (閉会)

平成 24 年第 1 回上小阿仁村議会定例会会議録（第 1 号）

○招集（開会） 年月日 平成 24 年 3 月 6 日

○招 集 場 所 上小阿仁村議会議場

○開議年月日（時間） 平成 24 年 3 月 6 日（10 時 00 分）

○出席議員

1 番	小 林	信 君	2 番	長 井	直 人 君
3 番	齊 藤	鉄 子 君	4 番	佐 藤	真 二 君
5 番	萩 野	芳 紀 君	6 番	北 林	義 高 君
7 番	伊 藤	敏 夫 君	8 番	武 石	善 治 君

○欠席議員 な し

○地方自治法第 121 条の規定により説明のため、会議に出席した者の職氏名

村	長	中 田 吉 穂
副	村	長 加賀谷 敏 明
総	務	課 長 萩 野 謙 一
住	民	福 祉 課 長 小 林 悦 次
産	業	課 長 中 嶋 辰 雄
建	設	課 長 小 林 隆
特別養護老人ホーム施設長		鈴 木 壽美子
主幹兼診療所所長		鈴 木 義 廣
代表監査委員		齊 藤 登
教	育	長 出 川 幸 三
教育委員会主幹兼事務局長		田 中 文 隆

○本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	伊藤秀明
議 会 書 記	小林京子

○村長提出議案の題目 別紙のとおり

○議員提出議案の題目 な し

○議 事 日 程

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会 期 の 決 定
- 第 3 行 政 報 告
- 第 4 一 般 質 問
- 第 5 議案第 1 号 平成 23 年度上小阿仁村一般会計補正予算の専決処分報告について
- 第 6 議案第 2 号 平成 23 年度上小阿仁村一般会計補正予算の専決処分報告について
- 第 7 議案第 3 号 平成 24 年度上小阿仁村一般会計予算について
- 第 8 議案第 4 号 平成 24 年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計予算について
- 第 9 議案第 5 号 平成 24 年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計予算について
- 第 10 議案第 6 号 平成 24 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計予算について
- 第 11 議案第 7 号 平成 24 年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計予算について
- 第 12 議案第 8 号 平成 24 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計予算について
- 第 13 議案第 9 号 平成 24 年度上小阿仁村下水道事業特別会計予算について
- 第 14 議案第 10 号 平成 24 年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計予算について
- 第 15 議案第 11 号 平成 24 年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計予算について
- 第 16 議案第 12 号 平成 24 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計への繰入れについて
- 第 17 議案第 13 号 平成 24 年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計への繰入れについて
- 第 18 議案第 14 号 平成 24 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計への繰入れについて
- 第 19 議案第 15 号 平成 24 年度上小阿仁村下水道事業特別会計への繰入れについて
- 第 20 議案第 16 号 平成 23 年度上小阿仁村一般会計補正予算について

- 第 21 議案第 17 号 平成 23 年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 22 議案第 18 号 平成 23 年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算について
- 第 23 議案第 19 号 平成 23 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計補正予算について
- 第 24 議案第 20 号 平成 23 年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計補正予算について
- 第 25 議案第 21 号 平成 23 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計補正予算について
- 第 26 議案第 22 号 平成 23 年度上小阿仁村下水道事業特別会計補正予算について
- 第 27 議案第 23 号 平成 23 年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 28 議案第 24 号 平成 23 年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計補正予算について
- 第 29 議案第 25 号 平成 23 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計への繰入れについて
- 第 30 議案第 26 号 平成 23 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計への繰入れについて
- 第 31 議案第 27 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 32 議案第 28 号 未来づくり協働プログラム基金条例の制定について
- 第 33 議案第 29 号 上小阿仁村村税条例の一部を改正する条例について
- 第 34 議案第 30 号 上小阿仁村介護保険条例の一部を改正する条例について
- 第 35 議案第 31 号 上小阿仁村長寿祝金条例の一部を改正する条例について
- 第 36 議案第 32 号 上小阿仁村奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について
- 第 37 議案第 33 号 上小阿仁村過疎地域自立促進計画の変更について
- 第 38 陳 情

○本日の会議に付した事件  
議事日程に同じ

○会議録署名議員の氏名

### 10時00分 開会

○議長（武石善治） ただ今の出席議員は、8名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成24年第1回上小阿仁村議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

### 諸般の報告

○議長（武石善治） 日程に入る前に諸般の報告を行います。

この件につきましては、議員各位のお手元に文書を配布しておりますので、これにて諸般の報告といたします。

### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（武石善治） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により議長において、6番 北林義高君、7番 伊藤敏夫君を指名いたします。

### 日程第2 会期の決定

○議長（武石善治） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から3月16日までの11日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（武石善治） 異議なしと認めます。よって、会期は11日間と決定いたしました。

### 説明員の通告

○議長（武石善治） 説明員の通告がありますので、報告いたします。

副村長、加賀谷敏明君。総務課長、萩野謙一君。住民福祉課長、小林悦次君。産業課長、中嶋辰雄君。建設課長、小林隆君。特別養護老人ホーム施設長、鈴木壽美子君。主幹兼診療所事務長、鈴木義廣君。代表監査委員、斎藤登君。教育長、出川幸三君。教育委員会主幹兼事務局長、田中文隆君。

### 日程第3 行政報告

○議長（武石善治） 日程第3 村長より、施政方針、行政報告についての発言を求められておりますので、これを許します。村長。

（中田吉穂村長 登壇）

○村長（中田吉穂） それでは、平成24年度施政方針並びに行政報告を行います。最初に総務課関係からご説明を申し上げます。

平成24年度予算について

平成23年12月16日閣議決定された国の平成24年度予算編成の基本方針は、①東日本大震災からの復興。②経済分野のフロンティアの開拓。③分厚い中間村の復活。④農林漁業の再生。⑤エネルギー・環境政策の5つの重点分野を中心に、日本再生に全力で取り組むとするもので、一般会計の予算規模は90.3兆円余りとなっております。

現在の村にとって人口減少・高齢化は深刻な課題となっており、実効性のある雇用創出、産業振興等について、早急な対策が必要となっております。厳しい財政状況の中で政策実現のための歳出予算を確保するため、行政コストの縮減に努め、国、県の補助金、交付金や過疎債等を活用し、村の諸課題解決のための予算執行を図ってまいります。

平成24年度一般会計当初予算は、平成23年度で「北秋田市上小阿仁村病院組合の解散に伴う負担金」「議員共済年金廃止に伴う特別負担金」等の臨時的経費があったことから、前年度比1億4,663万円（6.3%）減少し、21億8,726万円となっております。

特別会計の予算総額は8会計で前年度比3,358万円（2.3%）増加し、15億2,561万円となっております。

一般会計の歳入においては、歳入の大半を占める地方交付税は前年度比5,700万円（3.9%）の減の13億9,300万円、財源不足を補うために借り入れる臨時財政対策債は3,000万円計上しております。

歳出の性質別内訳では、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が、前年度比で4,339万円（4.6%）減の8億9,420万円で、一般会計に占める割合は41%となっております。補助費等は、平成23年度に病院組合解散に伴う負担金1億5,515万円が計上されていたことから、平成24年度は前年度比1億5,945万円減少し、2億9,671万円となっております。

そのほか、普通建設事業費が2億5,274万円（前年度比2,924万円、13.1%増）、特別会計への繰出金は、2億8,123万円（前年度比2,375万円、9.2%増）などとなっております。

各会計の予算総額は次のとおりです。表の方は読み上げませんので、ご覧いただきたいと思っております。

一般会計に計上した主な事業

集会室床改修工事 262 万円、防災広報無線デジアナ改修工事 5,954 万円、庁舎暖房設備改修工事 776 万円、外出支援身障輸送車購入費 392 万円、野外生産試作センター施設修繕工事（排水路改修）287 万円、中山間地域総合整備事業 3,653 万円、オフセット・クレジットコンサルティング業務委託 450 万円、森林作業道修繕工事（堀内岱線）240 万円、多々羅沢地区収入間伐事業 589 万円、皆伐事業（沖田面字土産沢地区）254 万円、林道修繕事業 718 万円、秋田杉の館空調機器入替工事 230 万円、大地の芸術祭負担金 251 万円、林道補修工事 1,451 万円、除雪機械購入費 2,048 万円、橋りょう補修事業 2,867 万円、住宅リフォーム緊急支援事業補助金 300 万円、住宅修繕工事（屋根塗装、給湯器外）302 万円、消防広報車購入費 437 万円、消火栓新設工事 113 万円、小型動力ポンプ積載車購入費 496 万円、トレーニングセンター屋根外壁改修工事 1,655 万円。

次に平成 23 年度補正予算について

今定例会提出の一般会計補正予算は、国の第 4 次補正予算による新規事業の追加や各科目全般にわたる精算見込みなどにより 4,129 万円減額する補正で、補正後の総額は 23 億 4,233 万円となります。

一般会計歳出で追加された主なものは次のとおりです。

農業体質強化基盤整備促進事業 5,680 万円、森林環境保全直接支援事業 221 万円、各施設燃料費の増、単価増 123 万円。

また、特別会計は次の 8 会計について、総額 641 万円減額する補正予算を提出しておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

次に人事関係について

平成 23 年末で看護師 1 人、准看護師 1 人が退職するため、1 月 16 日を期限として 2 人の職員募集をしたところ現在臨時職員として勤務している 1 人から申し込みがあり、採用試験の結果合格いたしました。必要な人員に満たないため、2 月 10 日を期限として再度募集しましたが申し込みがありませんでした。

現状の募集方法では人員の確保が困難で、新年度も迫っているため、生年月日等の資格要件を緩和して採用を確保したいと考えております。

未来づくり協働プログラムについて

県が市町村提案のプロジェクトに対し交付金を交付する「未来づくり協働プログラム」が平成 24 年度から 5 年間実施されることになり、1 月 25 日に、その内容について県の説明がありました。村では、平成 24 年度に八木沢集落で、新潟県越後妻有地域で行われている大地の芸術祭の飛び地開催を予定しております。こうしたイベントを取り入れ、交流人口の増加を地域活性化、産業振興に結びつけるような「未来づくり協働プログラム」提案を検討してまいります。今後、議会の意見も伺いながら、提案採択に向け準備を進めてまいります。

村では、「未来づくり協働プログラム基金」を造成し、年度当初からの円滑な予算運営を図りたいと考えており、今定例会に関係条例を提出しております。

次に防災広報無線デジアナ改修工事について

村の防災広報無線の改修のため、平成 24 年度で親局と子局 1 基の改修及び I P 告知放送システムへの接続など 5,954 万円の工事費を計上しております。

親局をアナログ波とデジタル波の両方に対応できるよう改修し、既設のアナログシステムを可能な限り活用しながら、子局については、機能停止の都度更新を図ってまいります。また、I P 告知放送システムと接続することで、災害情報等の確実な伝達にも努めます。財源として過疎対策事業債を活用したいと考えており、現在、県と協議中であります。

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊については、現在、八木沢集落に赴任している隊員について、平成 24 年度も引き続き活動していただくよう要請しておりました。2 月 15 日に 2 人の隊員と確認ための話し合いをした結果、2 人の隊員とも 3 年間の任期にあたる今年 11 月 19 日までは活動を続けたいという意思を確認いたしました。

また、観光振興、特産品開発を活動内容とする新たな協力隊 2 人を、2 月 20 日を期限として募集してきましたが、期限まで申し込みがありませんでした。期間を延長して再度募集しております。

次に I P 告知端末の愛称決定について

I P 告知端末の愛称が「こあに電話」に決定いたしました。I P 告知端末の利活用策を検討してきた電腦管理人会議で、子供から高齢者まで親しみのある名称基準として愛称候補を作成し、全世帯を対象として I P 告知端末タッチ投票を行い、最も投票の多かった「こあに電話」に決定したものであります。

今後、愛称の定着を図るとともに、利活用促進を進めてまいります。

住民福祉課関係

北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について

粗大ごみの受け入れについては、1 月末現在 186 トンで、前年同期と比較し 70 トンの大幅な増加となっております。これは家屋解体材等が増加したためです。

火葬場については、1 月末の利用状況は、人体 239 件、動物等 72 件、合わせて 311 件となり、前年同期に比較して、人体で 3 件の減、動物等で 4 件の減となっております。

平成 24 年度予算については、総額 1 億 879 万円で、23 年度に比較して 8,031 万円の減額となっております。村の負担金については、1,939 万円で、456 万円の減額となっております。

#### 北秋田市周辺衛生施設組合について

し尿処理の状況は、平成 23 年度上期の搬入量は 16,063 キロリットルで、前年度と比較して 1.3%減となり、1 日平均処理量は 87.8 キロリットルとなっております。

環境保全については、放流水質、排ガス、ダイオキシン類など定期的な分析結果で管理基準値を下回っており、適正で安定した処理が行われております。

また、7 月補正で計上した凝集槽防水防食補習工事は、8 月 22 日に着工し、9 月 27 日に完了しております。

平成 24 年度予算については、総額で 1 億 8,738 万円、23 年度に比較して 1,462 万円の増額となっております。村の負担金については、555 万円で 1 万円の増額となっております。これは 23 年 10 月の国勢調査の人口と、し尿搬入量によって負担金が計算されていることによるものです。

#### 消防防災について

高規格救急車については、3 月 21 日に納入予定となっており、4 月 1 日から上小阿仁分署に救急救命士の配置をお願いしております。

秋田県ドクターヘリについては、冬季間は道の駅の駐車場を臨時的離着陸場として、1 月 23 日より運航を開始しております。

これらの整備より、緊急的疾患の救命率の向上と後遺障害の軽減が図られるものと期待しております。

また、村では、市町村地震防災対策緊急交付金を活用して、各集落の避難所に停電対応器機を整備しております。

2 月 21 日、各集落の代表者に地域センターに集まっていただき、発電機、投光器、ラジオ等の使用説明の後、引渡しを行っております。

豪雪対策本部については、1 月 26 日、沖田面地区の観測所で積雪 112 センチメートルとなったこともあり、1 月 12 日に設置した雪害対策部を格上げして設置をしました。

住民の安全を守るため、部落会長、消防分団、児童民生委員、交通指導隊等への協力依頼や広報無線、こあに電話、チラシでの注意の呼びかけ、4 班に分かれての危険箇所点検をするとともに、所有者のはっきりしない空き家の屋根の雪が道路に落雪して、危険な箇所については、役場職員と住民の協力のもと雪下ろしを行っております。

地域支え合い体制づくり事業によって、7 台の中型除雪機を購入し、希望された部落に無償貸与しておりますので、大いに活用していただきたいと思っております。

なお、残念ながらこれまでに屋根の雪下ろしによる重傷と軽傷の負傷者が出ております。また、建物の全壊も 4 件発生しておりますので、今後も災害防止

に努めてまいります。

#### 次に健康づくり講演会について

2月6日、上小阿仁開発センターで、毎週月曜日に国保診療所で診察をしていただいている佐々木秀平先生を講師に、「中高年男性・女性を悩ませる排尿異常について」と題して、健康づくり講演会を開催いたしました。悪天候にも関わらず満員の聴講者となり、講演時間をオーバーする熱心な講演会となりました。健康に対する関心の高いことと、佐々木先生の話を知りたいという住民の要望が合致した結果と思っております。

今後とも住民の健康づくりのため、同様の講演会を計画していきます。

#### 次に地域見守りネットワークについて

年末年始にかけて、一人暮らし高齢者が不幸にして亡くなっておりました。一人暮らしの高齢者が200人いる状況で、村の社会福祉協議会や声かけサポーター研修の参加者、近所の人、児童民生委員や保健センターの職員が訪問などをして対応しておりましたが、訪問日のあいた時に不幸が起きてしまいました。

声かけの間隔をできるだけあけないようにするために、新聞配達業者、郵便局、食材配達業者、婦人会などに新聞や郵便物などが溜まった時、異常な行動をしている人などがいた時には、すぐに役場に連絡をしていただくようお願いをしております。この輪を広げて、地域見守りネットワークを構築していきたいと考えております。

#### 次に介護保険事業について

1月31日の介護保険事業計画策定委員会で審議していただき、平成24年～26年度までの第5期介護保険事業計画を策定しております。

過去のデータから、介護給付費が少しずつ増加していることを考慮して、計画を策定しております。これにより、介護保険料を、月額3,800円から4,400円に上げざるを得ない状況となっております。

策定委員会でも内容を審査、協議をしていただきましたが、やむを得ないものとの結論となり、今定例会に関係条例、予算を提出しております。

#### 北秋田市上小阿仁村病院組合について

引き継いでおりました3件の裁判事件と1件の秋田県人事委員会への不服申し立て事件のうち、損害賠償請求訴訟事件について、平成23年12月21日に、控訴を棄却するとした判決の言い渡しがあり、平成24年1月10日、判決が確定して勝訴しております。2件の裁判と1件の人事委員会への不服申し立てについては、状況等がわかりしだい報告いたします。

なお、勝訴、敗訴にかかわらず弁護士等費用がかかりますので、その都度相談をさせていただきます。

産業課関係について申し上げます。

## 農業振興について

### (1) 米の生産目標数量

村に対する平成 24 年度産米の生産目標数量は 1,544 トン、面積換算値で約 292 ヘクタールとなりました。前年数量との比較では 16 トン、作付面積にして約 3 ヘクタールの作付け増加で、増減率ではプラス 1.0%となりました。全国の数値は 2 万トン、0.3%の減少ですが、秋田県では 3,220 トン、0.7%の増加であります。

なお、転作目標率に換算すると 39.2%となり、昨年より 0.5%の減少となりました。

### (2) 中山間地域総合整備事業

中山間地域総合整備事業は、平成 19 年度から事業実施してまいりましたが、平成 24 年度が最終年度となります。揚水機 1 箇所、集落防災安全施設 1 箇所、用排水路 3 路線を整備する予定です。

### (3) 農地・水保全管理

平成 19 年度から今年度までの計画期間で農地・水・環境保全向上対策として地域の共同活動による農道、農業用水路等の草刈り、維持補修等の保全管理活動を国、県、村で支援してまいりましたが、名称を「農地・水保全管理支払交付金」として平成 28 年度まで継続されることになりました。

各集落に対し、事業への取り組みについて確認したところ、13 地区で実施するとの回答をいただいております、地域コミュニティの活性化にも繋がることから引き続き支援してまいります。

### (4) 農業体質強化基盤整備促進事業

国の平成 23 年度第 4 次補正予算で創設された事業で、平成 25 年度までの事業期間となっており、対象工種は、用排水路、揚水機、ゲート、頭首工など、これらと一体的に整備する農作業道整備も対象となっております。平成 23 年度の事業採択に用排水路 8 路線を申請しており、今定例会に関係補正予算を計上しております。

## 林業・商工振興について

### (1) 保育事業

森林環境保全直接支援事業につきましては、平成 23 年度から繰越明許費により、下刈 22 ヘクタール、除伐 33 ヘクタールを予定しております。

### (2) 収入間伐、皆伐事業

美しい森林づくり基盤整備交付金事業では、収入間伐 7 ヘクタールを予定しております。また、平成 23 年度実施を見合わせました土産沢地区の皆伐事業につきましては、立木での販売を予定しております。

### (3) 民有林整備への支援

森林整備地域活動支援交付金事業では、既設路網の改良活動について 266 ヘクタールの区域を予定しております。

#### (4) オフセット・クレジット

地球温暖化対策として、環境省が平成 20 年度 11 月にオフセット・クレジット制度を創設しました。本制度は、地球温暖化の要因とされる二酸化炭素の排出量削減を推進するために、森林の二酸化炭素吸収量を削減量としてクレジット化し、二酸化炭素を排出する企業などに売却できるものです。

村が森林施業計画に基づいた間伐を実施することにより、二酸化炭素の吸収量が増加し、それをクレジット化して得られる売却益により一層の森林整備が可能となることから取り組むことといたしました。

#### (5) 緊急雇用創出臨時対策

平成 21 年度から 3 年間の事業予定でしたが、来年度も継続されることになったことから、野外生産試作センターでの特産物開発試作研究事業、林産物を活用した事業、農産加工品の開発事業などに取り組むことで、村直営と委託を合わせて 6 事業で 21 人の雇用を予定しています。

#### 建設課関係

##### 平成 24 年度建設事業について

平成 24 年度の建設事業は、林道関係では補修 5 路線と、県の緊急雇用対策事業で林道側溝浚渫作業を実施する予定であります。道路関係では村道補修 3 路線 5 箇所、23 年経過した除雪ドーザを更新するため 11 トン級の購入の予算をそれぞれ計上しております。

橋りょう関係では、長寿命化計画により橋の補修を進めておりますが、長信田橋の補修と小袋岱橋の補修調査設計を計上しております。なお、昨年度に引き続き上小阿仁橋の健全度調査を行うこととしております。

他に、大内沢川の堆積土砂除去、村営住宅の修繕を計上しております。

##### 住宅リフォーム緊急支援事業について

村の住宅リフォーム緊急支援事業については、以下のとおりとなっております。

県におきましては平成 24 年度も事業を継続することし、県議会に当初予算案が示されております。これまでの「リフォーム緊急支援事業」と新たに耐震、断熱等に主眼をおいた安全安心リフォーム推進事業に分け申請を受ける予定であり、補助金とエコポイントの交付となるようであります。

村においても、地域経済の活性化のため、県の施策に併せてリフォーム緊急支援事業を実施いたしたく予算を計上しております。なお、具体的な対象リフォーム工事、限度額等につきましては、県の要綱が示され次第、併せて村の要綱を改正したいと考えております。

#### 次に簡易水道事業について

村内水道施設については、平成 28 年度までに、ろ過装置の設置されていない施設及び小規模水道施設の解消を進めていく計画であります。24 年度においては、羽立地区と堂川大阿瀬地区の施設統合のための事業認可変更申請の予算を計上しております。

また、懸案の沖田面地区、小沢田地区の水道一元化につきましては、両地区とも更なる部落内での協議、併せて村との協議が必要となっております。今後とも、引き続き加入への理解が得られるよう努力をしまいたいと考えております。

#### 農業集落排水事業及び公共下水道事業について

農業集落排水事業及び公共下水道事業の経営は、人口減少により使用料が年々減少する中、施設の維持・更新の管理費用が嵩み、厳しい経営となっております。

平成 23 年 12 月定例会の一般質問においても答弁しておりますが、使用料金の値上げが必要と考えております。今後、値上げの幅、時期等、議会とも協議しながら関係各位のご理解を得て進めたいと考えております。

24 年度の一般会計からの繰入額は、施設の維持管理、機器修繕工事等の施設管理費分として、農集は 814 万円、下水道は 384 万円であります。また、全額一般会計から繰り入れしている起債償還分としては、農集 3,363 万円、下水道 1,771 万円であります。このように、農集、下水道会計は、今後とも一般会計からの繰り入れに頼ることになりますが、これにつきましては、下水道未加入の方々との不公平も否めず、前述のとおり、使用料金の見直しも含めて更に経費節減に努めて、一般会計からの繰入額を削減してまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

なお、沖田面地区公共下水道につきましては、平成 24 年度と 25 年度の 2 年間で下水道事業長寿命化計画を策定することとし、その費用は約 900 万円を見込んでおります。24 年度においては調査費用として 561 万円を予算計上しております。なお、本計画の策定がなされていないと、今後の事業を進める上で国からの交付金の交付が受けられなくなりますので、ご理解をお願いいたします。

#### 除排雪について

本年度の積雪は、12 月中旬から 1 月上旬にかけて、及び 2 月中旬の降雪と低温により例年より多い積雪となっております。積雪は 2 月 20 日午前 6 時にピークの 120 cm となりましたが、2 月 22 日午前 6 時現在では 100 cm となっております。このような状況により、除排雪経費に不足が生じこととなり、専決にて 1 月 16 日に 1,120 万円、2 月 1 日に 1,685 万円の予算補正追加を行っております。

本年度の除雪の一斉出動回数は、下記のとおりとなっております。

工事等の発注状況について

平成 23 年 12 月定例会以降の発注状況は、下記の表のとおりです。

つづいて教育委員会関係

学校教育関係について

(1) 平成 24 年度上小阿仁小・中学校の児童生徒数について

平成 24 年度の上小阿仁小学校の児童数は 17 人が卒業し、18 人が入学しますので、今年度より 1 人増の 76 人となります。また、上小阿仁中学校の生徒数は、18 人の卒業生に対し新入生が 17 人のため、今年度より 1 人減の 65 人となります。その結果、平成 24 年度の上小阿仁小・中学校の児童生徒数は、23 年度と同数の 141 人となり、4 月 5 日入学式を迎えます。

なお、卒業式は、中学校が 10 日に、小学校は 19 日に行われます。

(2) 特別支援教育の充実について

平成 23 年度に引き続き、平成 24 年度においても上小阿仁小学校と中学校にそれぞれ 1 学級の特別支援学級が継続して設置されることになりました。また、児童生徒の学習や生活を支援する生活サポート員についても、23 年度と同様に小学校と中学校に 1 人ずつ配置し、一層きめ細かな指導を行っていきたいと考えております。

(3) 上小阿仁小学校社会科副読本改訂版の発行について

小学校の 3、4 年生が社会科の学習に使用している副読本は、平成 5 年に発行されたもので、内容が大幅に変わっているため早急な全面改訂が必要となっていました。そこで、22 年度から「特色ある教育活動事業」で雇用した臨時職員の協力を得ながら本格的な改定作業をスタートさせ、編集に十分検討重ねながら、その作業を進めてまいりましたが、この 3 月には完成し発行する予定となっております。

生涯学習・社会体育関係について

(1) 秋田県生涯学習推進本部、「美の国カレッジ事務局」より、平成 24 年度カレッジ事業として、あきたアクティブカレッジ（仮称）秋田ふるさと学講座の開催依頼がありました。この講座の趣旨は、「村」単独 1 世紀を超える歴史を刻む誇り高き上小阿仁の魅力を探る機会を提供する、という内容のものでしたので、上小阿仁キャンパスの開催を引き受けることにしました。

講座の開催は、上小阿仁村生涯学習センターを主会場として、10 月から 11 月にかけて 3 回予定されており、そのテーマや学習内容、講師等について、現在、秋田県生涯学習センターの担当者と協議を重ねているところです。平成 24 年度に入り、その内容が明らかになり次第詳しく報告いたしますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

(2) 公民館では、12 月 17 日、生涯学習センターで「クリスマス用リース作

り講座」を開催しました。参加者は10数名でしたが、それぞれ個性的で美しいリースを作ることができ、大変好評を博した講座となりました。

(3) 1月8日に、かみこあに総合型クラブスマイルでは、創立5周年を記念し、新春餅つき大会を開催しました。地域の方々や家族連れでの参加に加え、小学生、中学生の参加も多く見られ、およそ80人の皆さんによって賑やかに楽しい餅つきが行われました。

(4) 2月4日には、「道の駅」周辺を会場に、親子でミニかまくら作りと料理教室が開催されました。当日は、穏やかな日和に恵まれ親子での参加に小中学生が加わり、また村外からの参加もあり、およそ60人の皆さんが、かまくらづくりやだまこ料理教室に取り組みました。

(5) 2月9日のことぶき大学では、映画会～上小阿仁村映画・長い冬～が上映されました。この映画は、昭和32年度の営林署における冬山作業の様子と人びとの暮らしについて撮影されたもので、参加者からは、良いものを見せていただいたとの感想が多く寄せられました。

#### 国保関係診療所関係

昨年4月から今年1月までの患者数の状況は、医科は1日平均63人で、前年に比較して4人減となっており、歯科については1日平均11人で、ほぼ前年並みとなっております。また、4月から毎週月曜日に佐々木先生が診察を行っている泌尿器科の患者数は、1日平均8.9人ですが、昨年10月以降は10人以上の患者数で推移しております。佐々木先生には、平成24年度も引き続き診察していただくことになりました。

平成24年度には、老朽化した患者輸送車、往診車の更新、医療機器購入等の予算を計上し、医療の充実を図ってまいります。今後とも、村唯一の医療機関として運営に努力してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

#### 杉風荘関係

毎日寒く、乾燥する日々が続いておりますが、2月18日入所者1人がインフルエンザA型に感染いたしました。今後は、感染が拡大しないよう十分健康管理に努めてまいります。

入所者は、開設当初に比べ重度者が多くなってきております。入浴も特殊浴槽に入られる方が多くなってきていることから、24年度において特殊浴槽を2台設置するため、当初予算に計上しております。

24年4月から介護保険法の改正で、報酬改定があり、大幅な減収が見込まれております。

2月20日現在86人が入所し、その内上小阿仁村出身者は50人となっております。

以上で行政報告、施政方針を終わります。

○議長（武石善治） これで施政方針、行政報告を終わります。